

テクニカルレギュレーション 新体操

7. タイブレーク一般規則（オリンピックを除く）

これらのタイブレーク規則は、同点であった場合、どの選手、グループ、またはチームが勝利であるかの決定方法を定義する。

7.1 個人 予選競技

7.1.1 個人総合決勝競技の予選

同点の場合、個人総合決勝競技の予選では、順位は次の基準によって決定される：

1. 予選で得られた最高2つの最終得点の合計が高い選手（つまり、高い点数から2つの種目の最終得点の合計を加算する。）
2. 3つの高い点数の種目でのE得点の合計得点
それでも同点の場合は、2つの高い点数の種目のE得点の合計を追加
3. 3つの高い点数の種目でのD得点の合計得点
それでも同点の場合は、2つの高い点数の種目のD得点の合計を追加

それでも同点の場合は、同点順位となる。

7.1.2 個人総合決勝

同点の場合、順位は次の基準によって決定される：

1. 合計したEスコア（4種目）が最も高い選手の勝利
2. 合計したAスコア（4種目）が最も高い選手の勝利
3. 合計したDスコア（4種目）が最も高い選手の勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

7.1.3 種目別決勝競技の予選

同点の場合、種目別決勝競技の予選では、順位は次の基準によって決定される：

1. Eスコアが最も高い選手の勝利
2. Aスコアが最も高い選手の勝利
3. Dスコアが最も高い選手の勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

7.1.4 種目別決勝競技

同点の場合、種目別決勝競技では、順位は次の基準によって決定される：

1. Eスコアが最も高い選手の勝利

2. Aスコアが最も高い選手の勝利
3. Dスコアが最も高い選手の勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

7.2 団体 予選競技

7.2.1 団体総合の予選

同点の場合、予選／総合では、順位は次の基準によって決定される：

1. Eスコア（2種目）が最も高いグループの勝利
2. Aスコア（2種目）が最も高いグループの勝利
3. Dスコア（2種目）が最も高いグループの勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

7.2.2 種目別決勝競技の予選

同点の場合、それぞれの種目（1手具での演技、2手具での演技）において、次の基準が適用される：

1. Eスコアが最も高いグループの勝利
2. Aスコアが最も高いグループの勝利
3. Dスコアが最も高いグループの勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

7.2.3 種目別決勝競技

同点の場合、それぞれの決勝競技（1手具での演技、2手具での演技）において、次の基準が適用される：

1. Eスコアが最も高いグループの勝利
2. Aスコアが最も高いグループの勝利
3. Dスコアが最も高いグループの勝利

それでも同点の場合は、同点順位となる。

7.3 チーム対抗戦

同点の場合、チーム対抗戦では、順位は次の基準によって決定される：

1. チームで登録された10個のE得点（個人8演技＋団体2演技）の合計
2. チームで登録された10個のA得点（個人8演技＋団体2演技）の合計
3. チームで登録された10個のD得点（個人8演技＋団体2演技）の合計

4. チームで登録された演技から高い9個のE得点（個人8演技+団体2演技）の合計
5. チームで登録された演技から高い9個のA得点（個人8演技+団体2演技）の合計
6. チームで登録された演技から高い9個のD得点（個人8演技+団体2演技）の合計

それでも同点の場合は、同点順位となる。